

論文審査の要旨  
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	CHOWDHURY MOIYEN ZALAL
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Resistance Sociality in the Shahbag Movement: A Critical Understanding of Social Media, Sociality and Resistance in Bangladesh			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	教授 関 恒樹	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 吉田 修	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 日下部 達哉	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	講師 中空 萌	
審査委員 Committee	東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所	教授 外川 昌彦	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は、バングラデシュの独立戦争時における戦犯の処遇を巡って、2013年に首都ダッカを中心に生じた政治的運動である Shahbag Movement を考察対象に、SNS の使用と社会運動の相互作用について明らかにしようとしたものである。第1章では、研究の目的、問題の所在などが述べられ、分析枠組みとして SNS を通じた抵抗と社会性の概念が説明される。第2章は、本論文の背景説明として、Shahbag Movement が発生した経緯が、様々な政治的アクターに注目しつつ論じられる。第3章では、バングラデシュにおいて SNS を中心にしたデジタル・メディアの普及プロセスと同時に、それらグローバルなメディアがいかにバングラデシュ社会のローカルな文脈に埋め込まれることになったかが論じられる。第4章では、バングラデシュの首都ダッカの中心部での、戦犯の死刑を要求する大規模な抗議行動に結実した SNS を通じた社会性が、どのようなメッセージのやり取りを通して拡散していったかを分析するとともに、オンラインとオフライン双方でのネットワークの動態が論じられる。第5章では、Shahbag Movement に対する反動として生じた、イスラーム原理主義的な政党や集団の台頭について詳述される。第6章では、前章で述べられた Shahbag Movement とそれに対抗するイスラーム勢力の、SNS を通じた相互交渉、対立に注目しつつ、両者の交渉の実態を明らかにした。第7章では、結論として、SNS から生まれる新たな人々のつながり、社会性、そこから可能になる社会運動、政治運動の動態が論じられると同時に、Shahbag Movement という特定の政治運動の事例から明らかになる、SNS のメディアとしての可能性が論じられた。</p> <p>本論文は、近年注目されつつある、「オンライン・エスノグラフィー」の分野において、方法論上の大きな貢献が可能である点、さらに SNS と社会運動の相互作用に関する文化人類学的研究としてオリジナリティを持った研究であることが高く評価され、審査員一同の合意のもとに、合格と判断された。</p>			